

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3182753号
(U3182753)

(45) 発行日 平成25年4月11日 (2013. 4. 11)

(24) 登録日 平成25年3月21日 (2013. 3. 21)

(51) Int. Cl.		F 1
B 2 5 G	1/00	(2006. 01)
B 2 6 B	3/00	(2006. 01)
A 4 7 J	43/28	(2006. 01)

B 2 5 G	1/00	F
B 2 6 B	3/00	C
A 4 7 J	43/28	

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2013-382 (U2013-382)
 (22) 出願日 平成25年1月28日 (2013. 1. 28)

(73) 実用新案権者 511088841
 濱田 穰
 大阪府大阪市福島区玉川 1 丁目 5 番 3 号 9
 〇 2 号
 (72) 考案者 濱田 穰
 大阪府大阪市福島区玉川 1 - 5 - 3 - 9 〇
 2 号

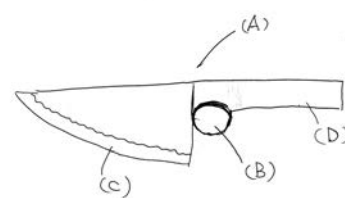
(54) 【考案の名称】 安全パワー包丁

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 包丁の柄の分と刃の部分との間に人差し指を入れる箇所を設け、怪我を防止した安全包丁を提供する。

【解決手段】 包丁本体 A に人差し指を入れる箇所 B を柄 D と刃 C の間に設け、そこに人差し指を入れることで、刃 C の下に指がくることが無く、怪我の防止に役立つ。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

包丁の柄の部分と刃の部分の間に、人差し指を入れる箇所を設けた所を特徴とする安全包丁。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、包丁を使用する際に人差し指を入れる箇所を設置し、指を怪我しないようにしたものである。

【背景技術】

10

【0002】

従来は人差し指を入れる箇所のついた包丁はなかった。

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

包丁を使用する際に、人差し指を刃の下に持ってきてしまい、怪我をする難点があった。本発明は、この課題を解消するためになされたものである。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

包丁の、柄の部分と刃の部分の間に、人差し指を入れる箇所を設け、安全に使用できるようにした。

20

【考案の効果】**【0005】**

人差し指を入れる箇所に、人差し指を入れることで、怪我をしない。また、堅いものを切る際に、力が入りやすい。

【図面の簡単な説明】**【0006】**

【図 1】安全包丁の側面図である。

【符号の説明】**【0007】**

30

(A) 包丁本体 (B) 人差し指を入れる箇所 (C) 刃 (D) 柄

【図 1】

